

# HPLC C/D 使用マニュアル

2011/12/28 by Kumiko Yamamoto

## 1 起動

HPLC のポンプと UV の電源を on にした後に PC を立ち上げる (Windows 2000)  
PC が起動したら”Borwin へのショートカット”アイコンから BORWIN を立ち上げる

Operator : DEFAULT

Group : DATA

Password : 空欄

## 2 液クロのシステム起動

UV : 上の装置。測定波長を設定。

1 →波長を入力 (通常 254 nm) →

ポンプ : 下の装置。流速を設定。

→流速を   
ポンプの  を  入力 (通常 1 ml/min) →  
押して溶媒を流し始める

## 3 ベースライン

PC の BORWIN の画面上で、一番上のタブにある”Run”から

“Run”→”Monitor Baseline”→”On System SYSTEM\_1”\*

\*HPLC C は SYSTEM\_1, HPLC D は SYSTEM\_2

開いた画面の”Time Window”に baseline 測定をする時間 (途中で測定をやめることができるので、長めに) を入力して”Run”

新しいウィンドウに吸収が表示される (液クロの UV 装置で  を押すと UV 吸収を 0 にできる)

baseline が安定したらウィンドウ上の”Stop”ボタンで baseline 測定を終了

baseline 測定ウィンドウも閉じてよい

## 4 サンプル測定

“Run”→”Start Single Run”→”Start Run on System SYSTEM\_1”\*

\*HPLC C は SYSTEM\_1, HPLC D は SYSTEM\_2

開いた画面で

Run : ファイル名 (自分の分かりやすい名前をつける)

Id Num : 何もいじらない

Run length : 測定時間を入力 (途中で測定をやめることができるので、長めに)

Info : 一緒に印刷される情報。カラム条件等を入力しておくといよい。

Weight : 何もいじらない

Istd Amount : 何もいじらない


Inj Volume : 2.5 くらい

を入力して”Run”

新しいサンプル測定ウィンドウが出てくる  
サンプルを打ち込む（打ち込むと自動的に測定が開始される）  
欲しいピークが出てきたらウィンドウ上の **Stop** で測定を終了  
サンプル測定ウィンドウも閉じてよい

## 5 解析

“File”→“Open File”

File selection の 4 つある四角のうち  一番右のを選択するとデータの新しい順に並ぶ

解析したいファイルを選び、**OK** で開く

解析画面の左から 10 個目にある **Edit** を選択すると 4 × 2 のツールボタンが出てくる。左上の “New” がピーク追加（ピーク開始部分にカーソルを合わせクリック→終了部分にカーソルを合わせクリック。ピークをとり終わったら右クリックで通常の矢印に戻る）、左の上から二番目 “Del” がピーク削除。

## 6 印刷

“File”→“Print Report”

Use Style Report から好きなフォーマットを選択して印刷

## 7 終了

“File”→“Save”で解析したデータを保存

“File”→“Close”で閉じる

④ “File”→“Exit”で終了してしまうと、別の **SYSTEM** で測定中のデータも閉じられてしまう

他に測定している人がいなければ、**PC** をシャットダウンし、**UV** とポンプの電源を切る